

# リスクマネジメント

## ■ 事業活動に伴うリスク管理

当社グループは、リスク管理に関する基本的事項を定めた「リスクマネジメント規則」を制定するとともに、海外子会社を含めたグループ全体の事業活動におけるリスクの発生を防止し、リスクが発生した場合にはその損失を最小限にとどめるための体制を構築しています。

また、効果的なリスクマネジメントを推進していくため、リスクをその特性に応じて、経営の意思決定に内在する「経営戦略に関するリスク」、グループ全体に影響するため組織横断的な管理が必要な「重要リスク」、各部門自らの責任において取り組む「一般リスク」に分類し、管理しています。

グループ全体のリスクマネジメントを統括・推進する機関として、社長執行役員を委員長とするリスクマネジメント委員会を設置し、リスク管理方針について審議・決定するとともに、リスク管理状況のモニタリングおよび必要に応じた改善を実施しています。

当社グループでは、リスクマネジメント推進の具体的な取り組みのひとつとして、毎年、リスクアセスメントを実施し、リスク感度の向上を図るとともに、その結果を各部門にフィードバックすることで、リスクマネジメントを強化しています。

### リスク分類に応じたリスク管理

#### 経営戦略に関するリスク

経営企画部が全体を統括。

例：M&A、アライアンスに関するリスク  
新規事業に関するリスク など

#### 重要リスク(組織横断的な管理が必要なリスク)

主管部門が主導して、リスク低減策を立案・推進。

内部統制推進室が全体を統括。

例：薬事関連法令に関するリスク  
大規模災害に関するリスク  
情報管理に関するリスク  
一般法令に関するリスク など

#### 一般リスク(各部門固有のリスク)

各部門がリスク低減策を立案・推進。

## ■ クライシスマネジメント

当社グループでは、発生が懸念されている南海トラフ巨大地震や首都直下地震への対策として、災害対応を含む危機管理に関する規程を見直し、災害発生時であっても、患者さんへ医薬品を安定的に供給できるように体制を強化しています。また、BCP訓練、安否確認訓練、通信訓練を実施するなど、実践力の向上にも努めています。

さらに、国内外の各拠点所在地の特徴に合わせて、津波やパンデミック、テロ、紛争などのマニュアルを整備し、定期的に更新することで、当社グループ全体で「医薬品安定供給」の使命を全うしていきます。

## ■ 情報セキュリティ

当社グループでは、海外事業拡大やITインフラの複雑化に対応し、情報および情報通信技術を安定して活用していくために、海外拠点での規則整備やネットワークセキュリティの強化、クラウドサービス利用時のセキュリティ強化、セキュリティ・インシデント発生時の危機管理体制の整備などに取り組んでいます。

### グローバルでのガバナンスの充実をめざします。

執行役員  
チーフ・コンプライアンス・オフィサー

大瀧 芽久美



製薬業界ではグローバル化の進展や革新的な科学技術の急激な進化によって選択可能なモダリティの多様化が一段と加速しており、当社グループの経営を取り巻く環境も不確実性を増しています。このような環境のもと、当社グループとして、企業活動の公平性、透明性を確保しながら、持続的な成長と企業価値の向上を図り、「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します」という企業理念を達成するためにはグローバルでのガバナンスの充実が必要です。

当社グループにかかわる全役員、全従業員がめざす姿を意識しながら企業行動憲章に基づいて行動し、組織間あるいは地域間で情報が分断されないようにガバナンスをさらに充実させることにより、ステークホルダーである皆様方の利益の確保を図ってまいります。